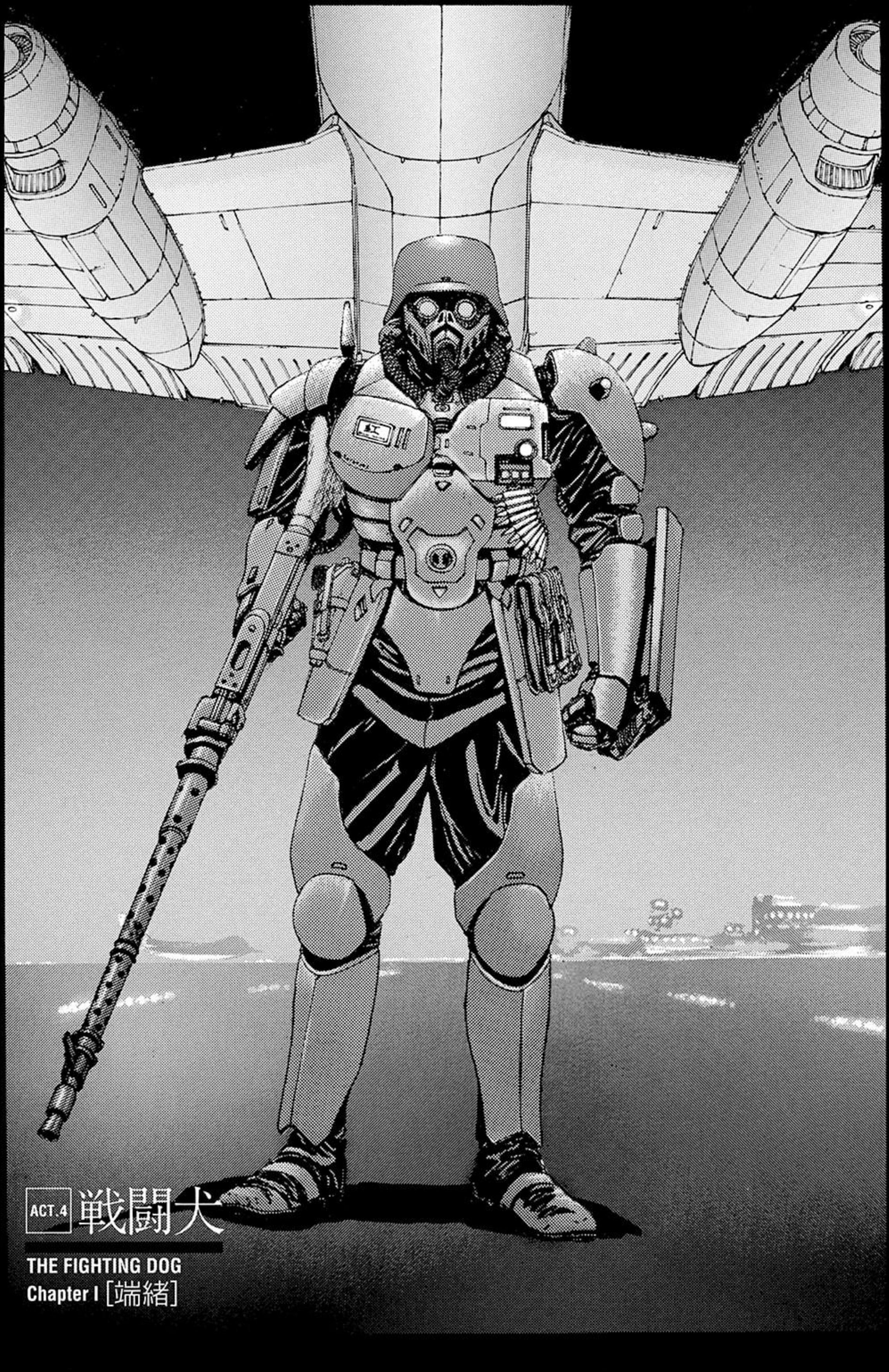
犬狼伝説

KERBEROS PANZER COP

ACT.4-1

原作
押井守

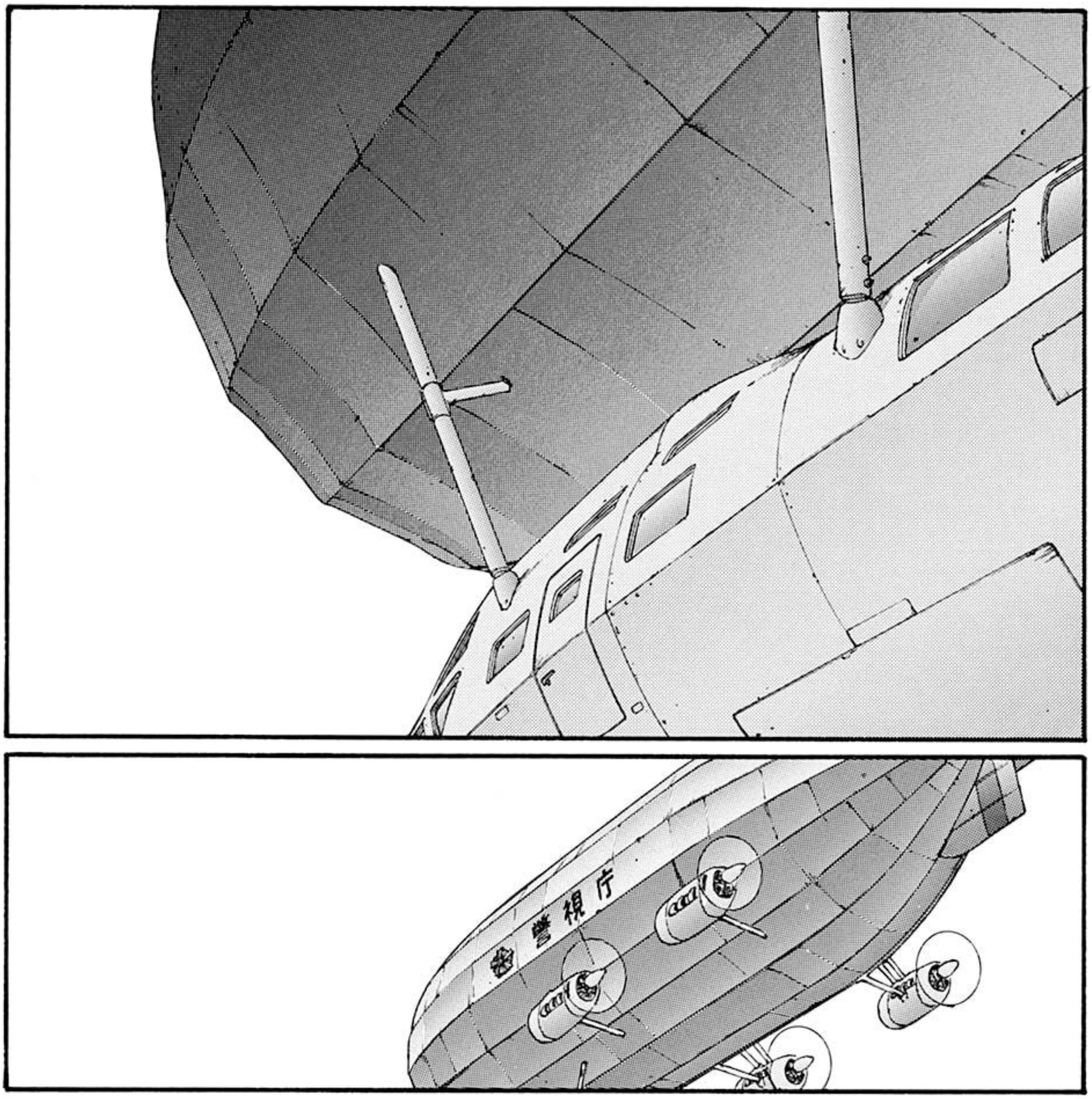
作画
藤原カムイ



ACT.4 戦闘犬

THE FIGHTING DOG

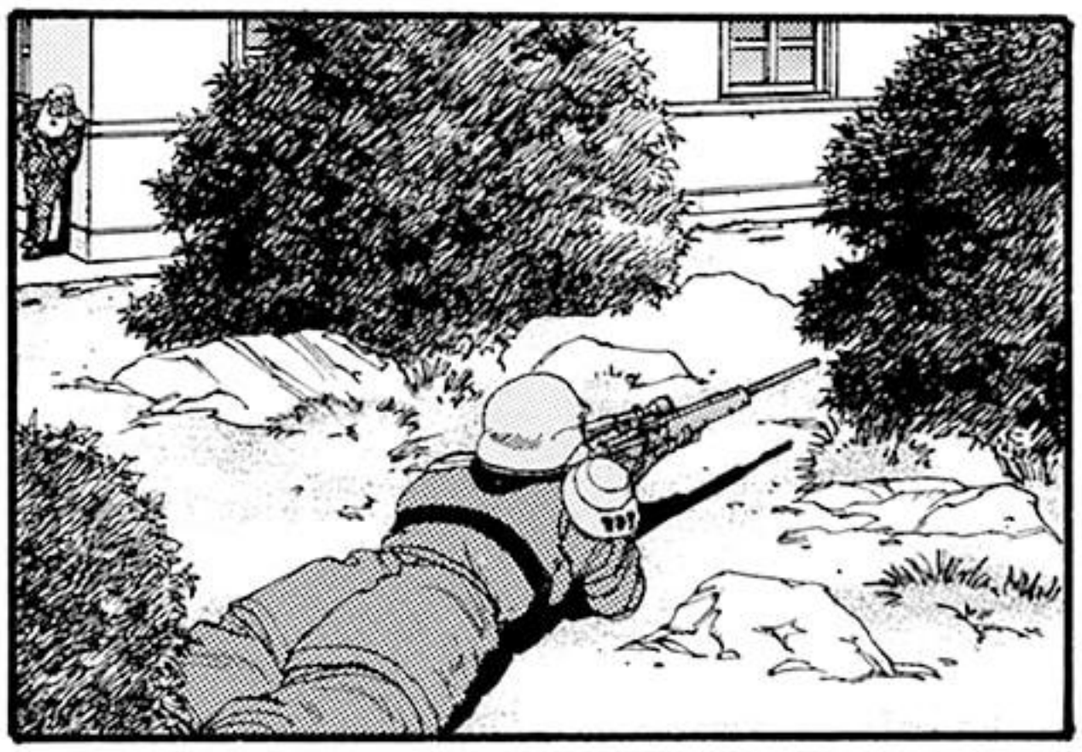
Chapter I [端緒]

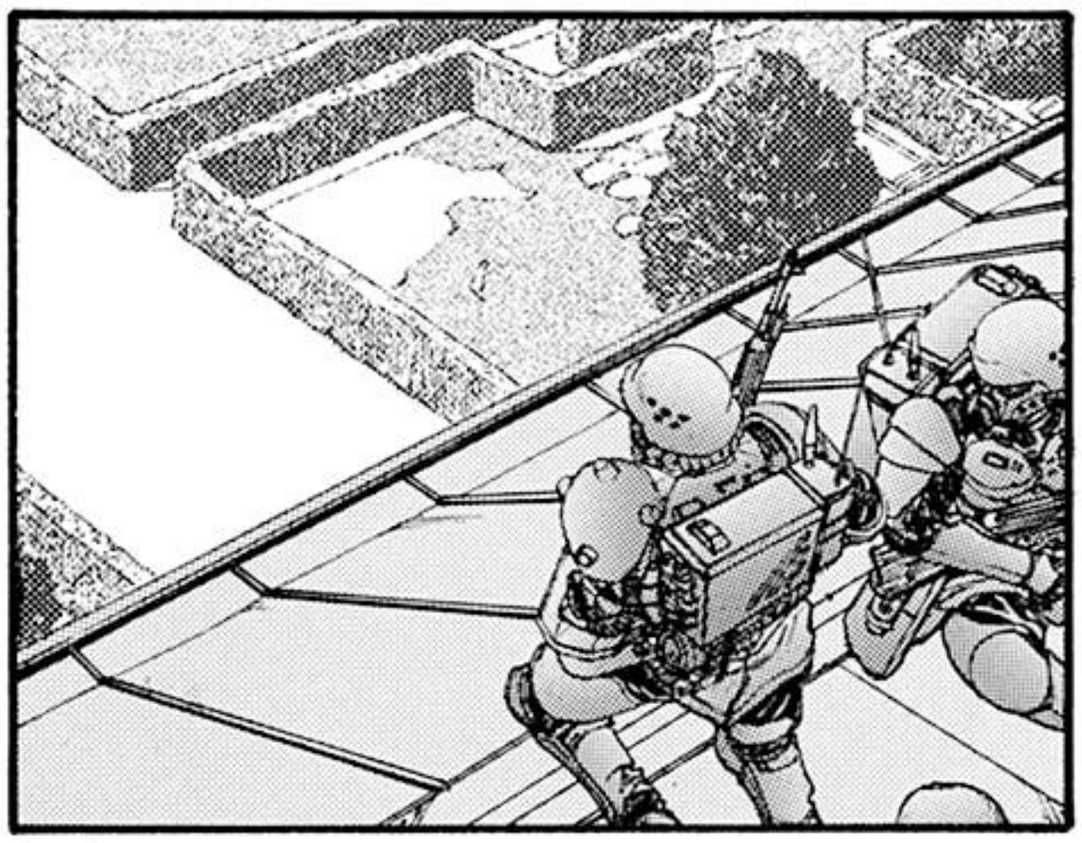

警視庁

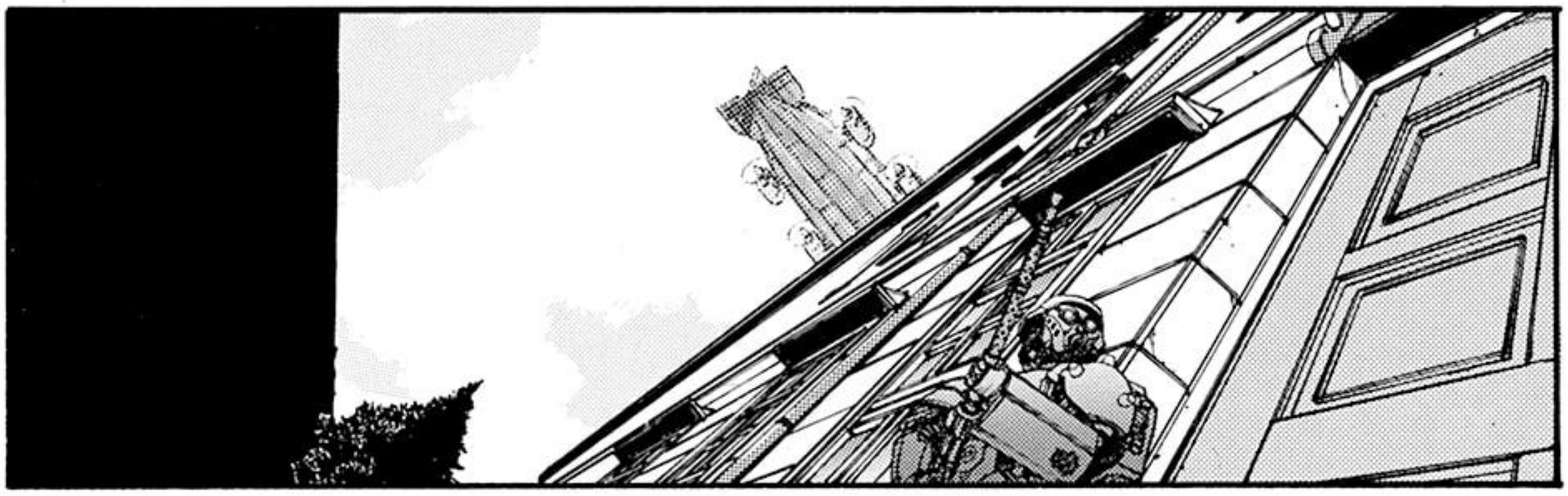
警視庁

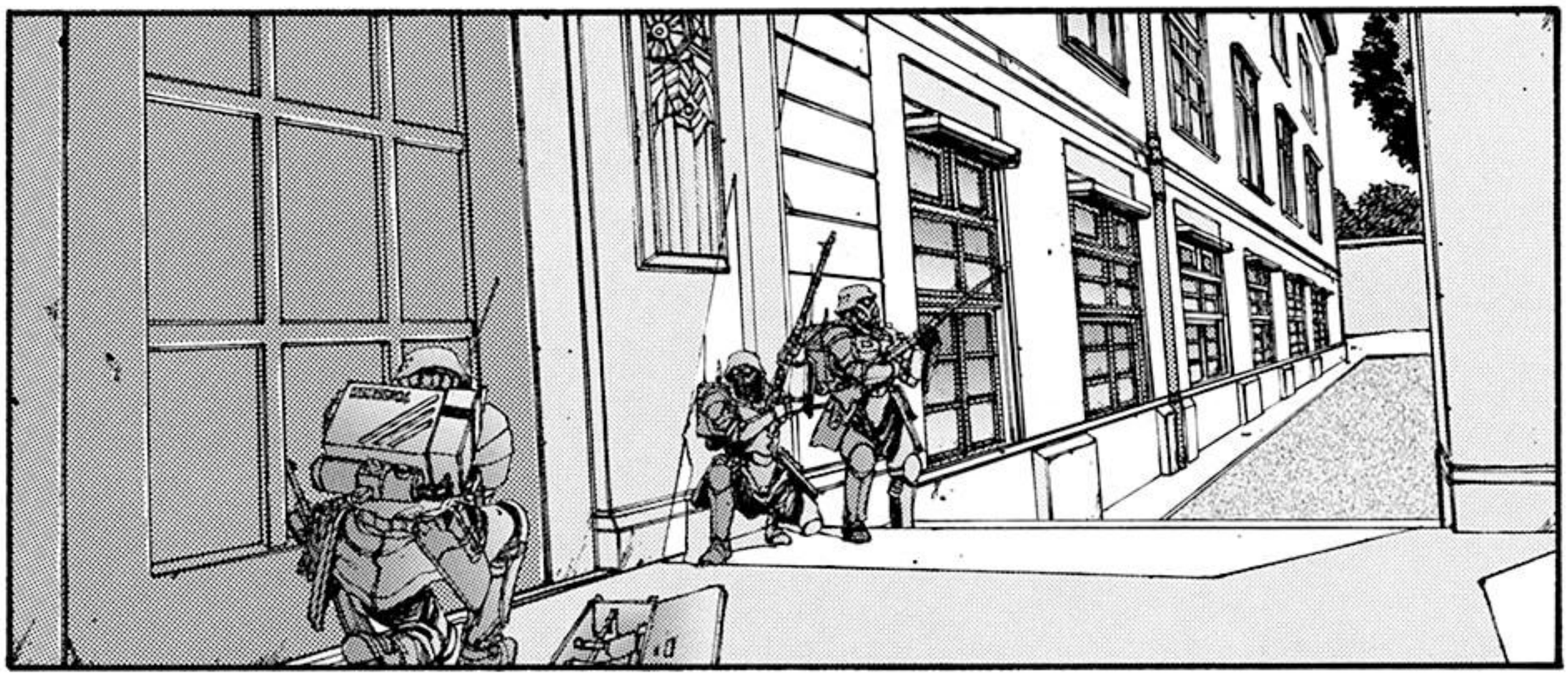
籠城中の
犯人に告ぐ
無駄な抵抗を
やめ

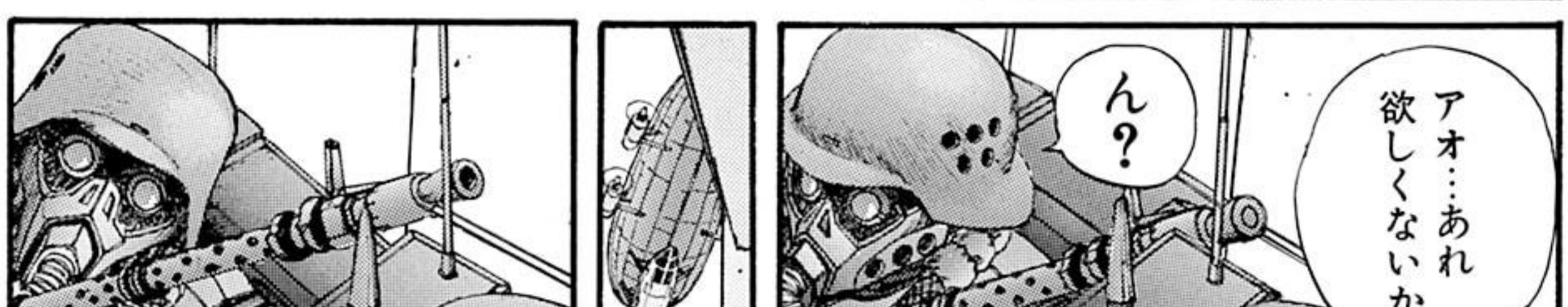
速やかに
人質を解放し
武器を捨てて
投降せよ
繰り返す……

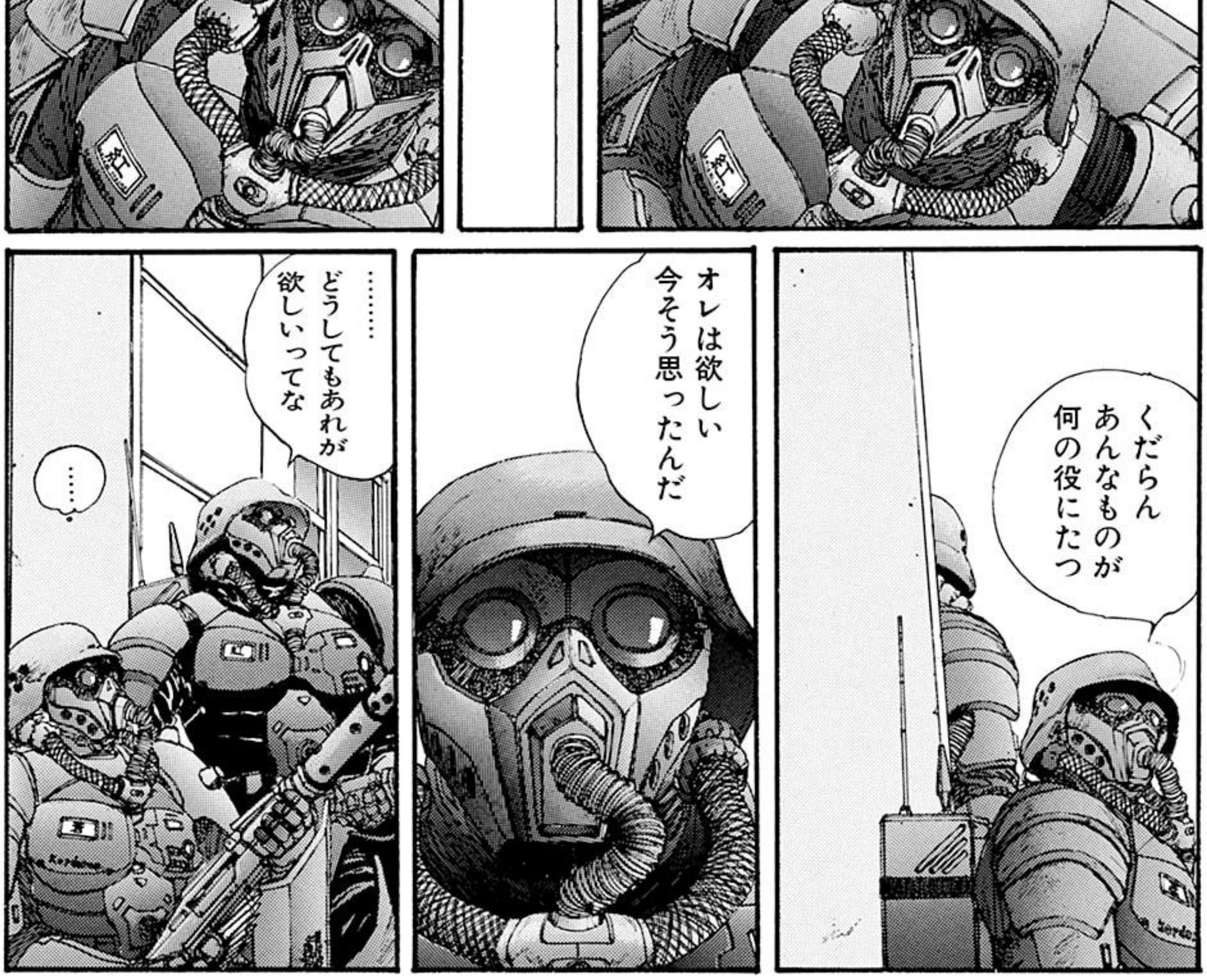









アオ…あれ
欲しくないか
ん？


くだらん
あんなもの
何の役にたつ
オレは欲しい
今そう思ったんだ
……
どうしてもあれが
欲しいってな
……

……

いつも妙なものを欲しがるな　お前

ズガーッ！

第一小隊より中隊指揮準備完了

ズーッ了解

装着終了

突入用意
完了しました

大使夫妻が
不在だったのが
不幸中の幸いか
……住民の退避は？

完了した
この区画には
民間人は一人も
おらん

……判ってるだろうな
人質の大使館員にもしもの
ことがあれば　ことは外交問題
にまで発展しかねないぞ！
その責任を一体誰が……

大使館の警護は
そちらの管轄だったな
彼等の突入を許した
責任は誰がどの様に
とるのか

……

30秒後に
はじめろ

有事に於ける
治安活動権限の拡大
解釈 自治警の警備活動
への不当介入 本庁を通し
公安委員会へ正式提訴
するからな

突入開始！

ボロ

ワイマール体制打破

ドドド

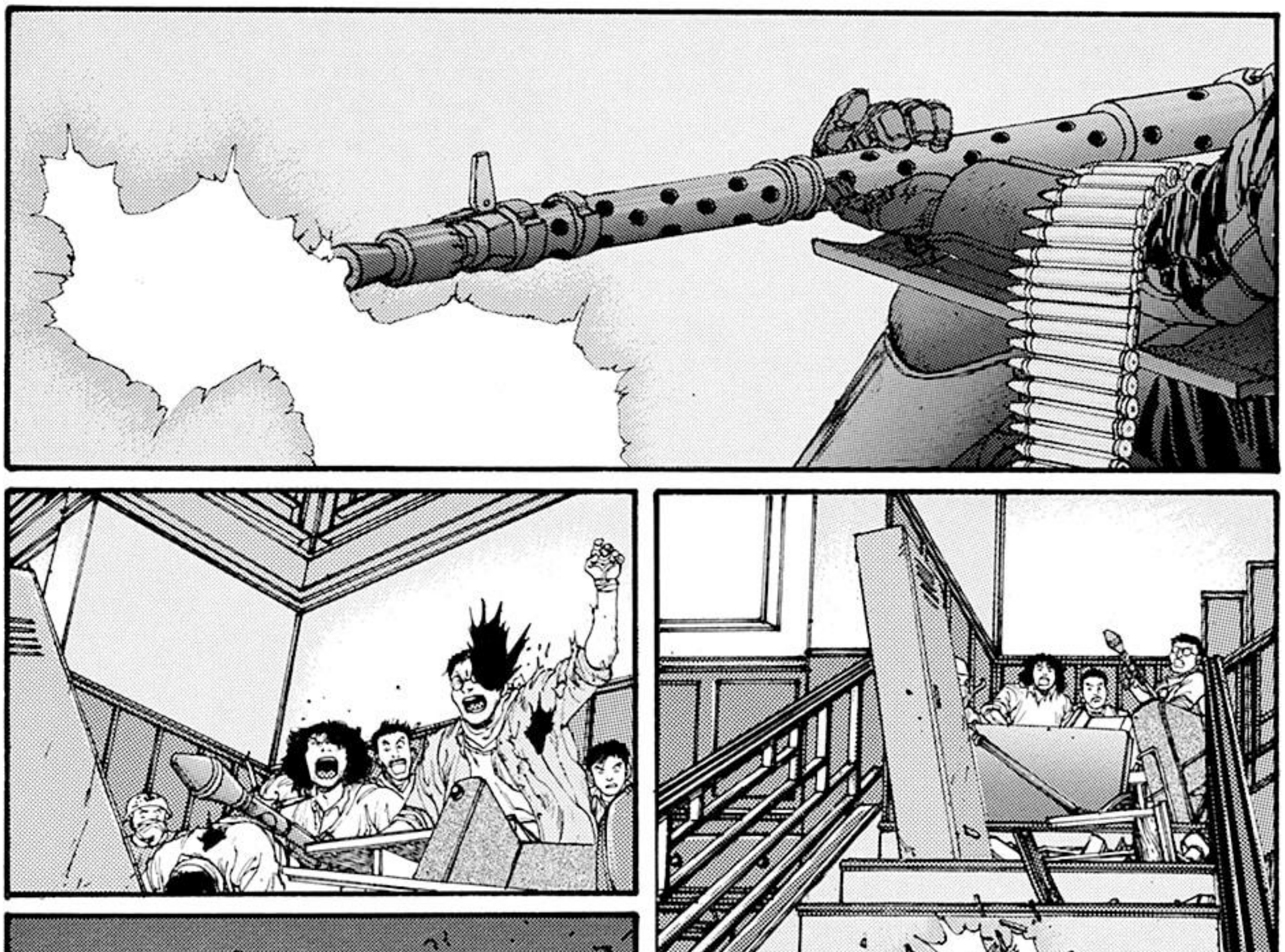
ドオォォン

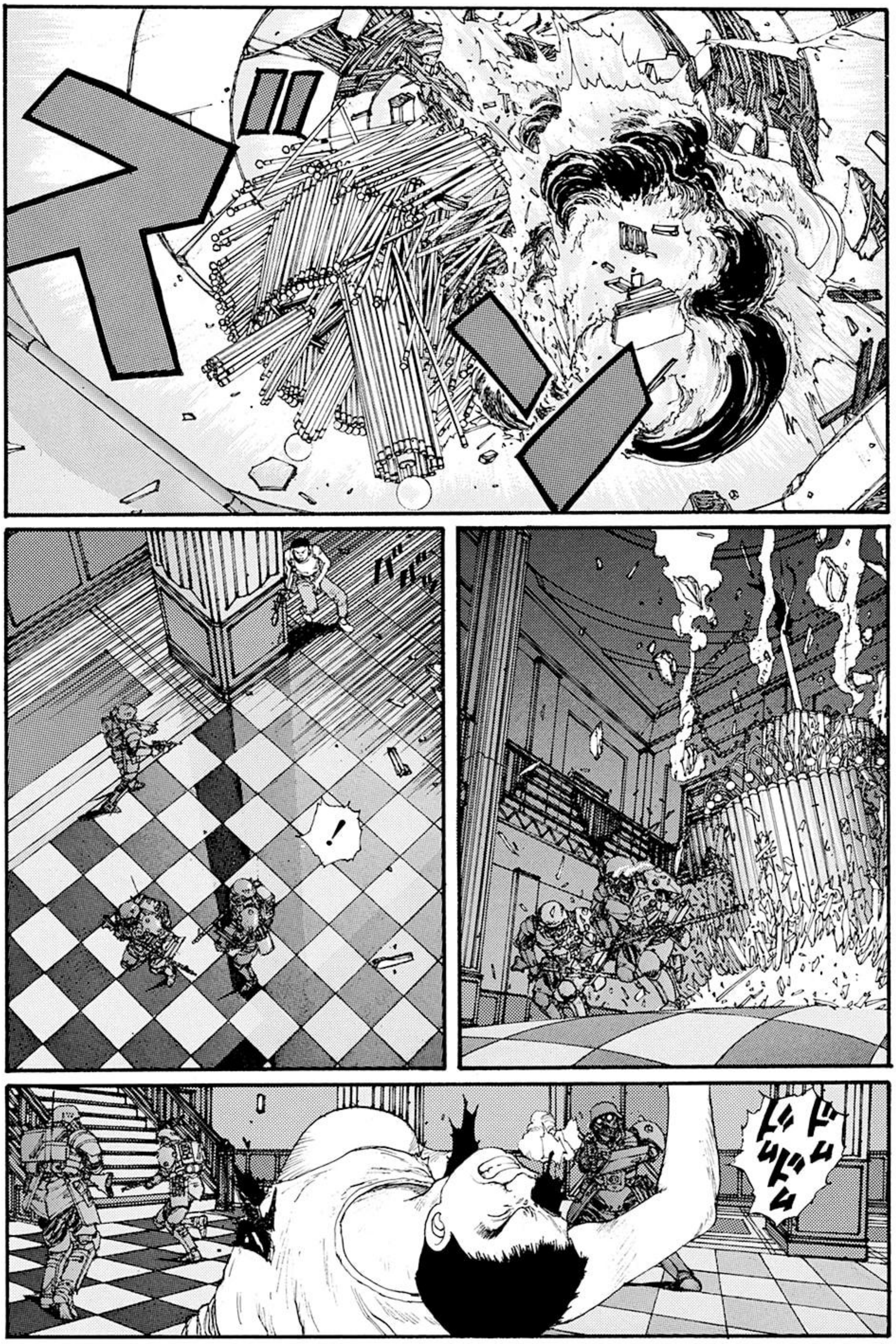
ガガガガ

ドオォ

オオ

ガガガガ





!

ドガガガガガガガガガ

ドガガガガガガガガガ

ドガガガガガガガガガ

コロン

退却!!

手榴弾だ!!

安全第一

発煙弾だ!!

撃て!!撃て!!

ガガガゴボッ

ゴボ

ゴボ

ゴボ

ドカカカカ!!
第二小隊
三階の障害を排除
射殺5 制圧2
これより一階へ
向う
第五小隊
一階フロアを
確保

第一小隊
二階通路確保
射殺7
執務室へ向う

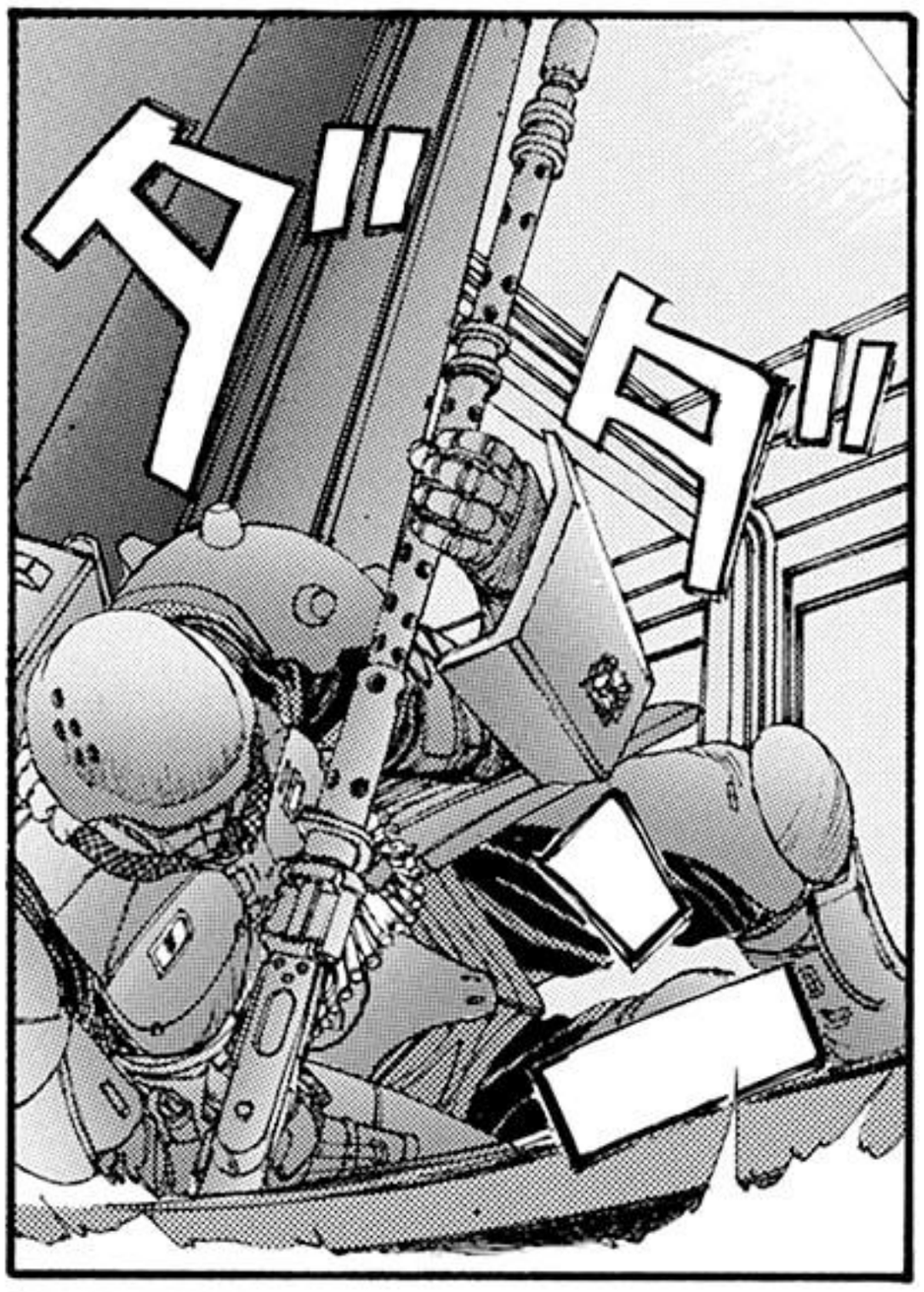
各小隊
人質の確保に
全力をあげろ

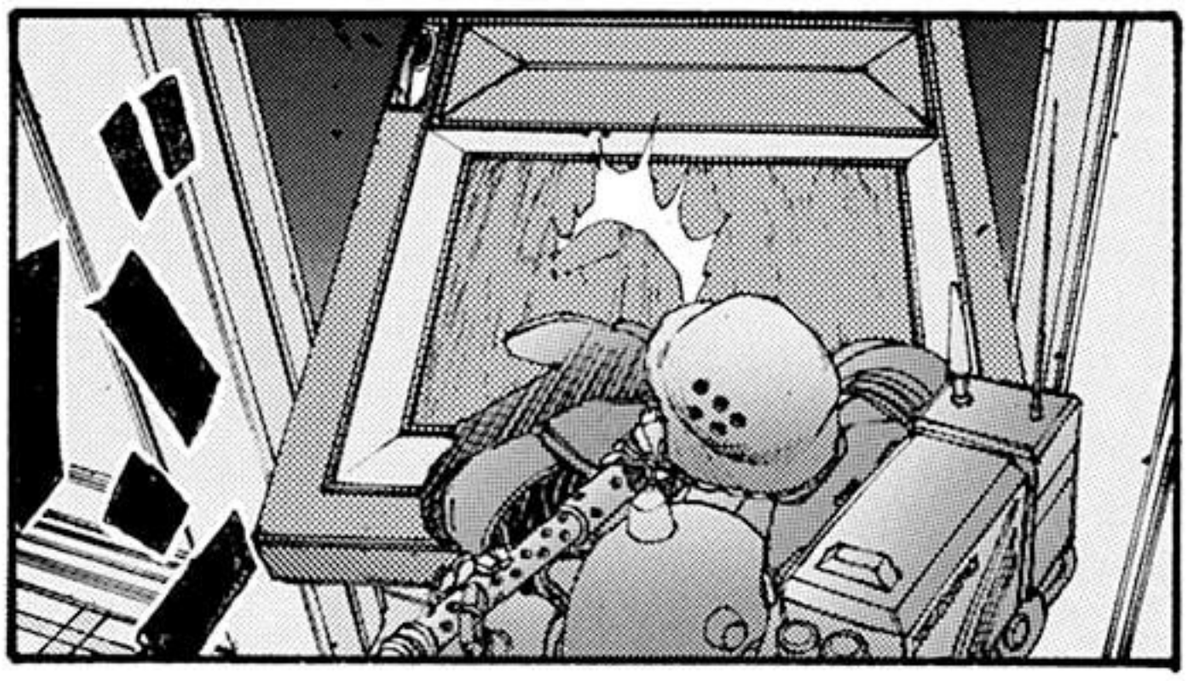
了解

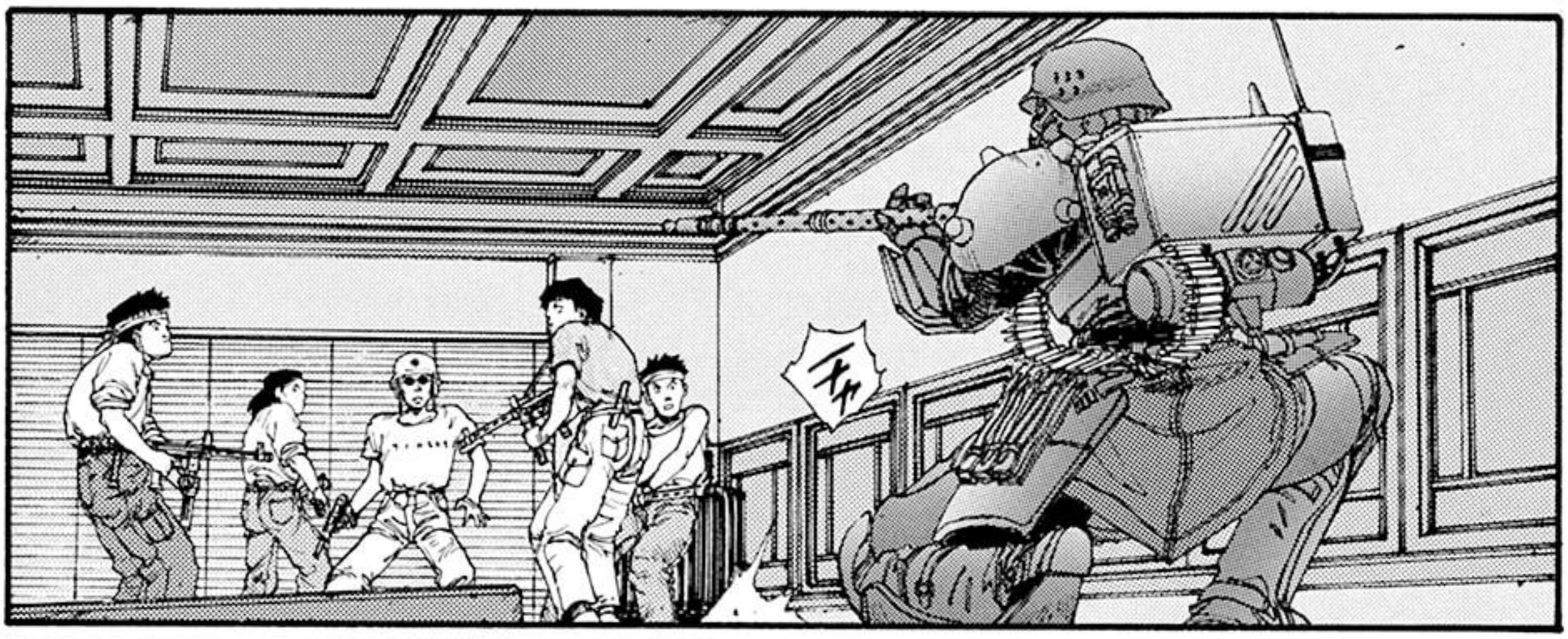
衛生小隊
前へ！

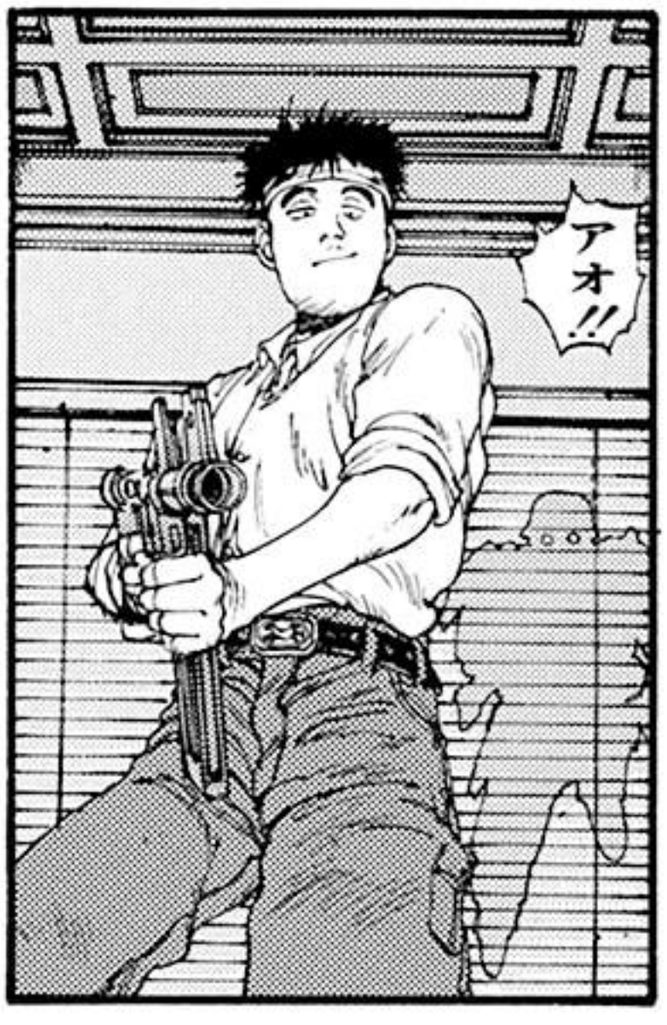
第二中隊
撤収準備に
かからせろ

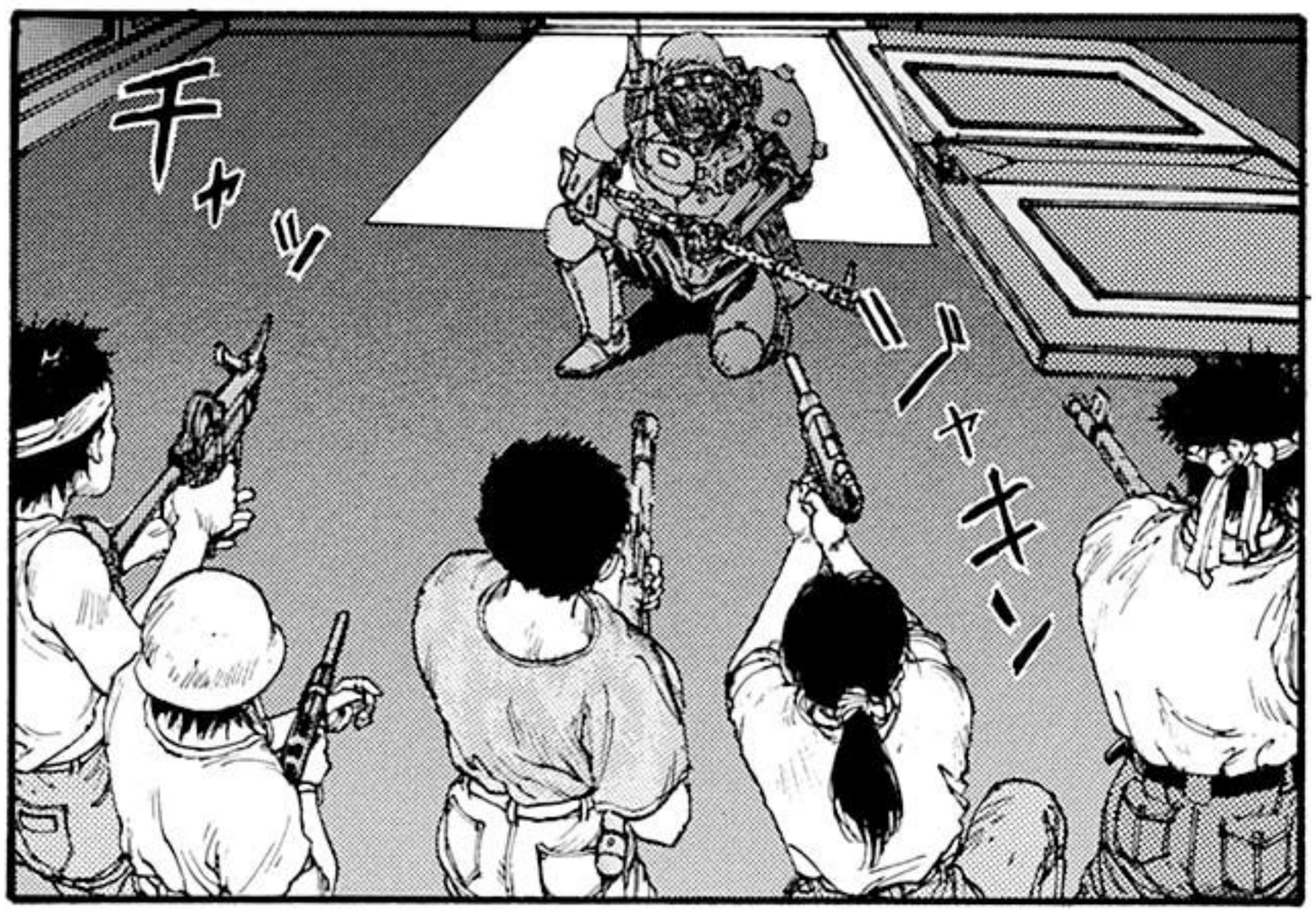
了解


アー
ロ!!




チャ


アオ!!


チャキ
ハヤキン

ドドドド

ガガガガガガガガ

ドガ

ダダダダ

子供！

あっ

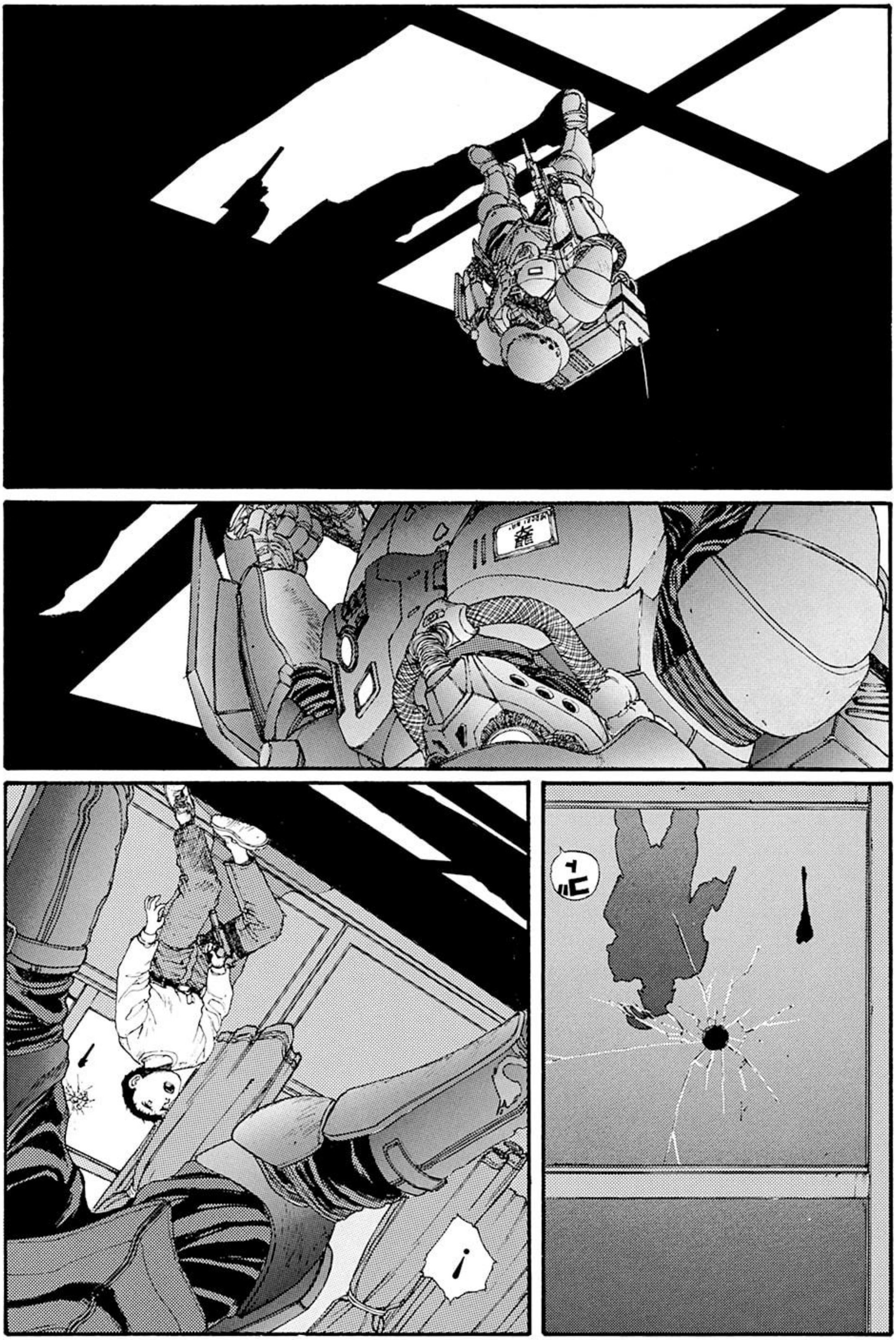
うあ…
あっ!!

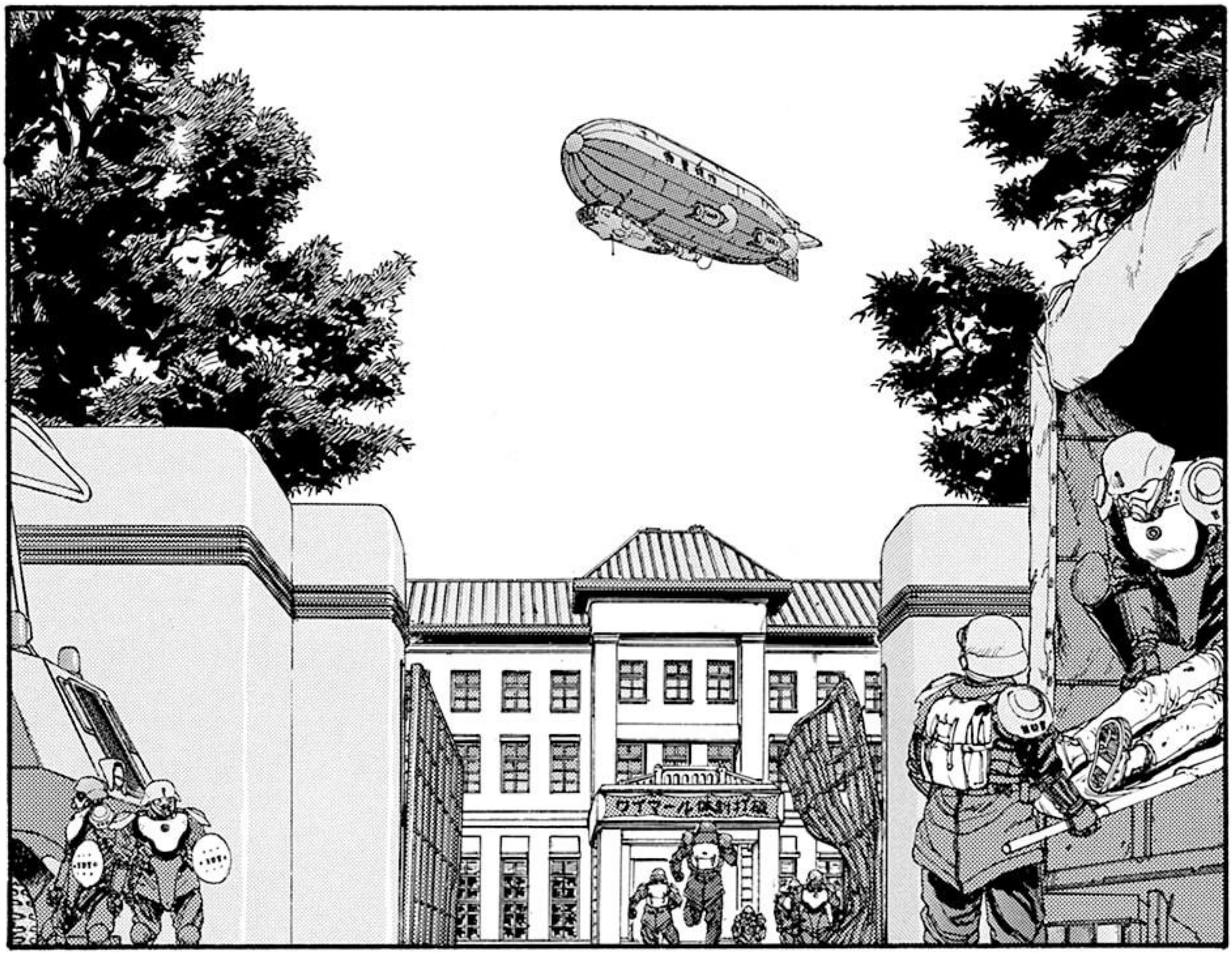
カタカタカタ

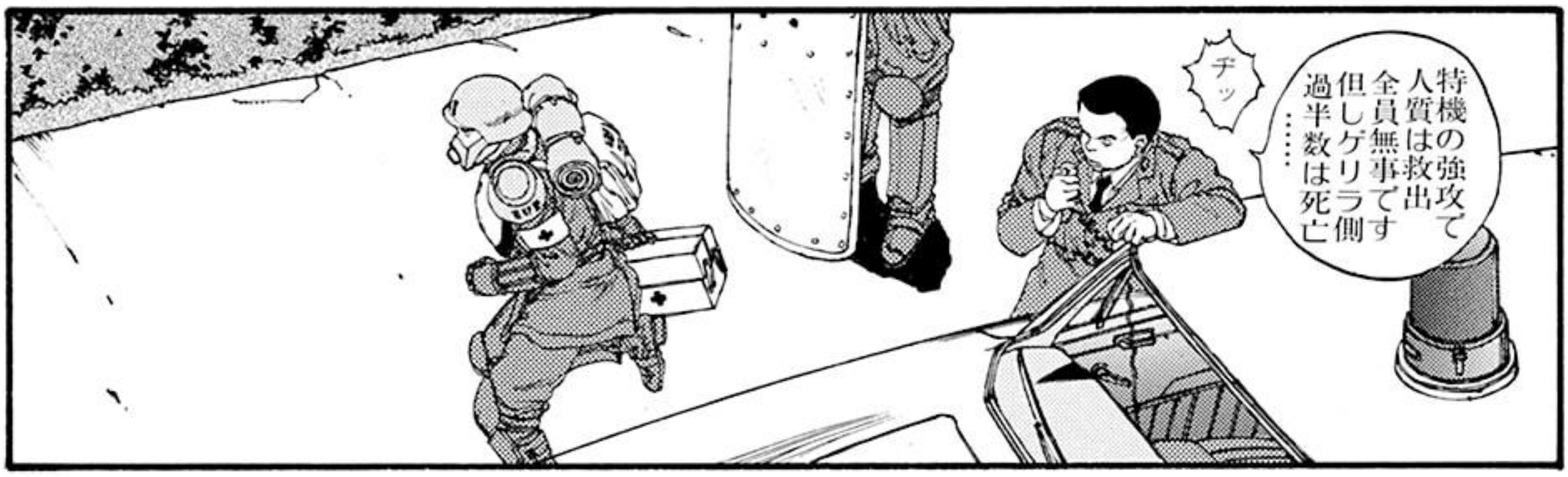
!

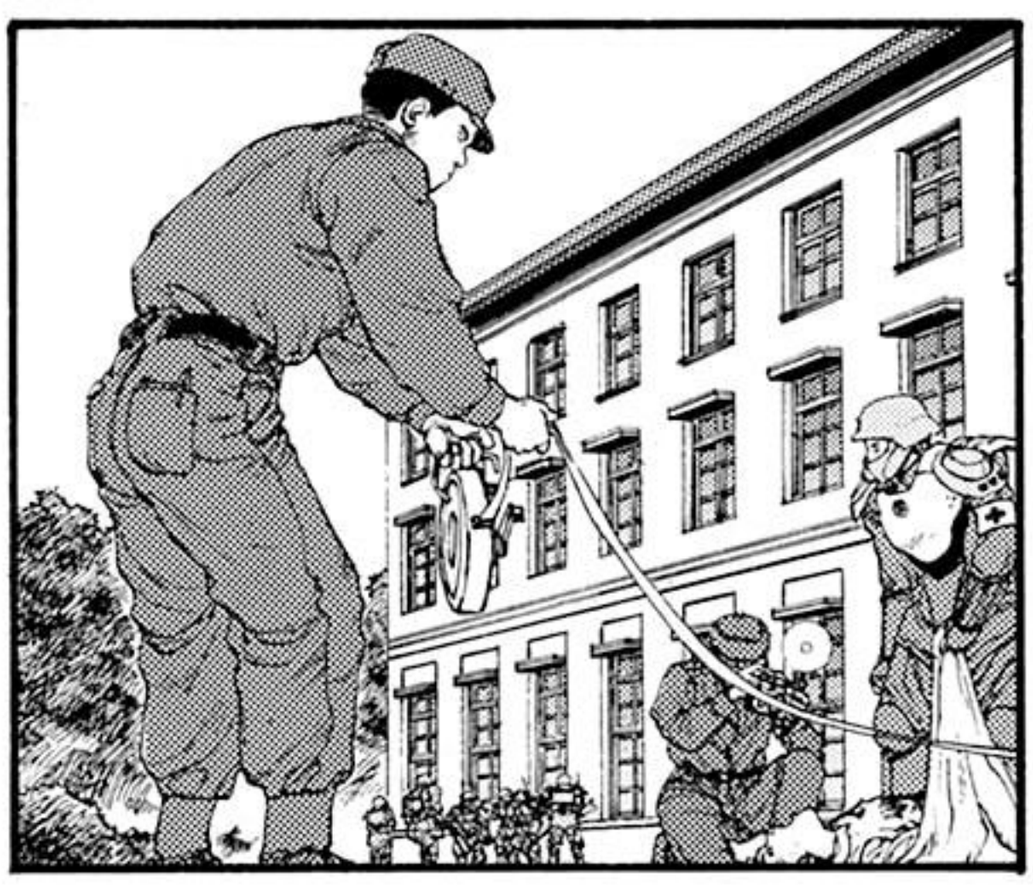
ピシッ！

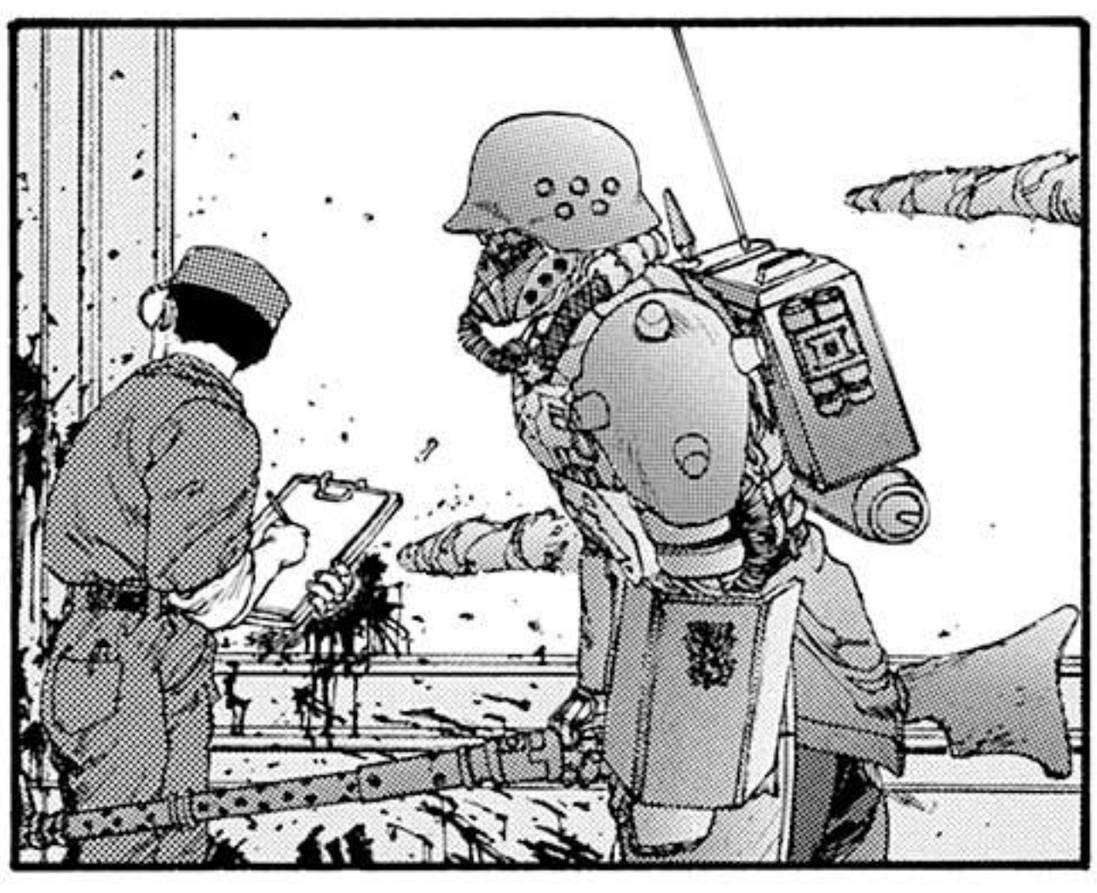
窓から
離れなさいっ!!






特機の強攻て
人質は救出
全員無事てす
但しゲリラ側
過半数は死亡
……
チッ



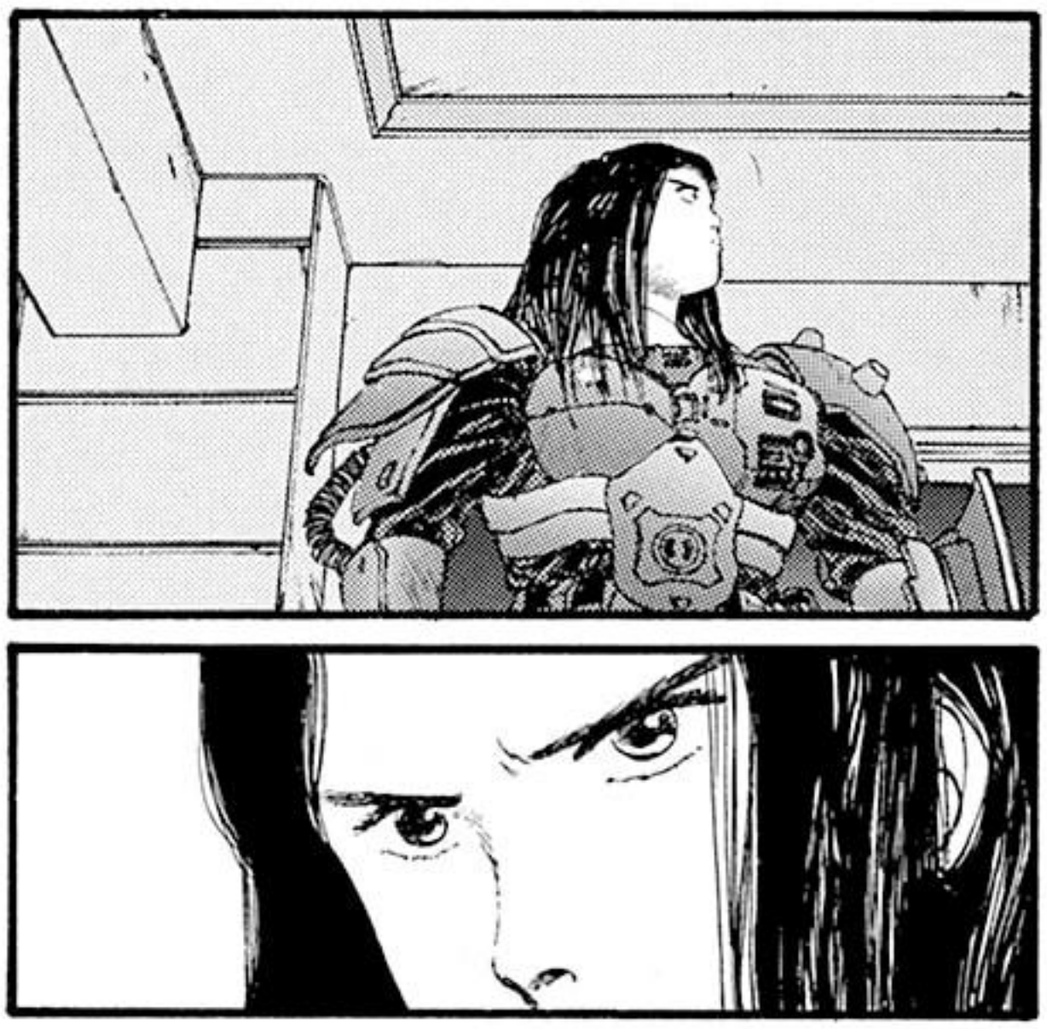


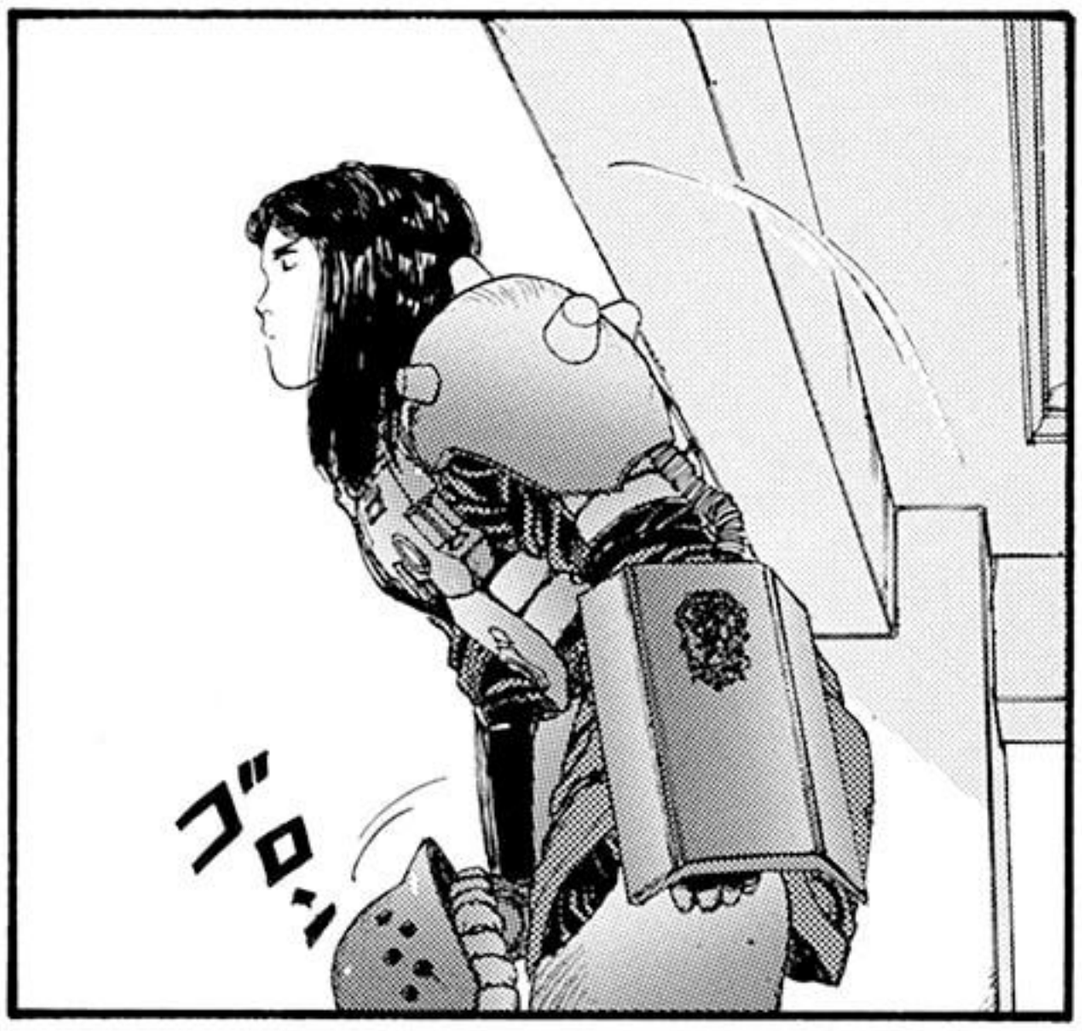
なんだ
まだガキじゃ
ねえか

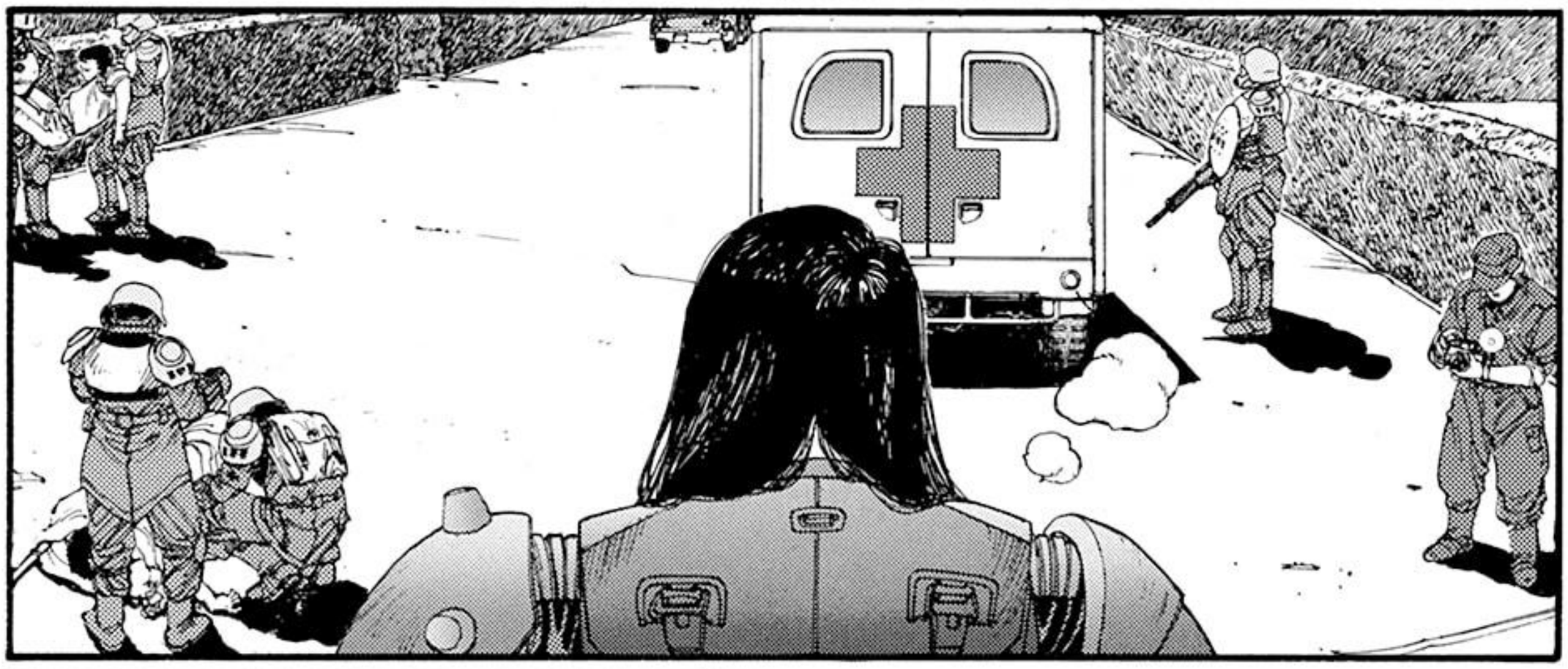
よくここまで
やれるぜ

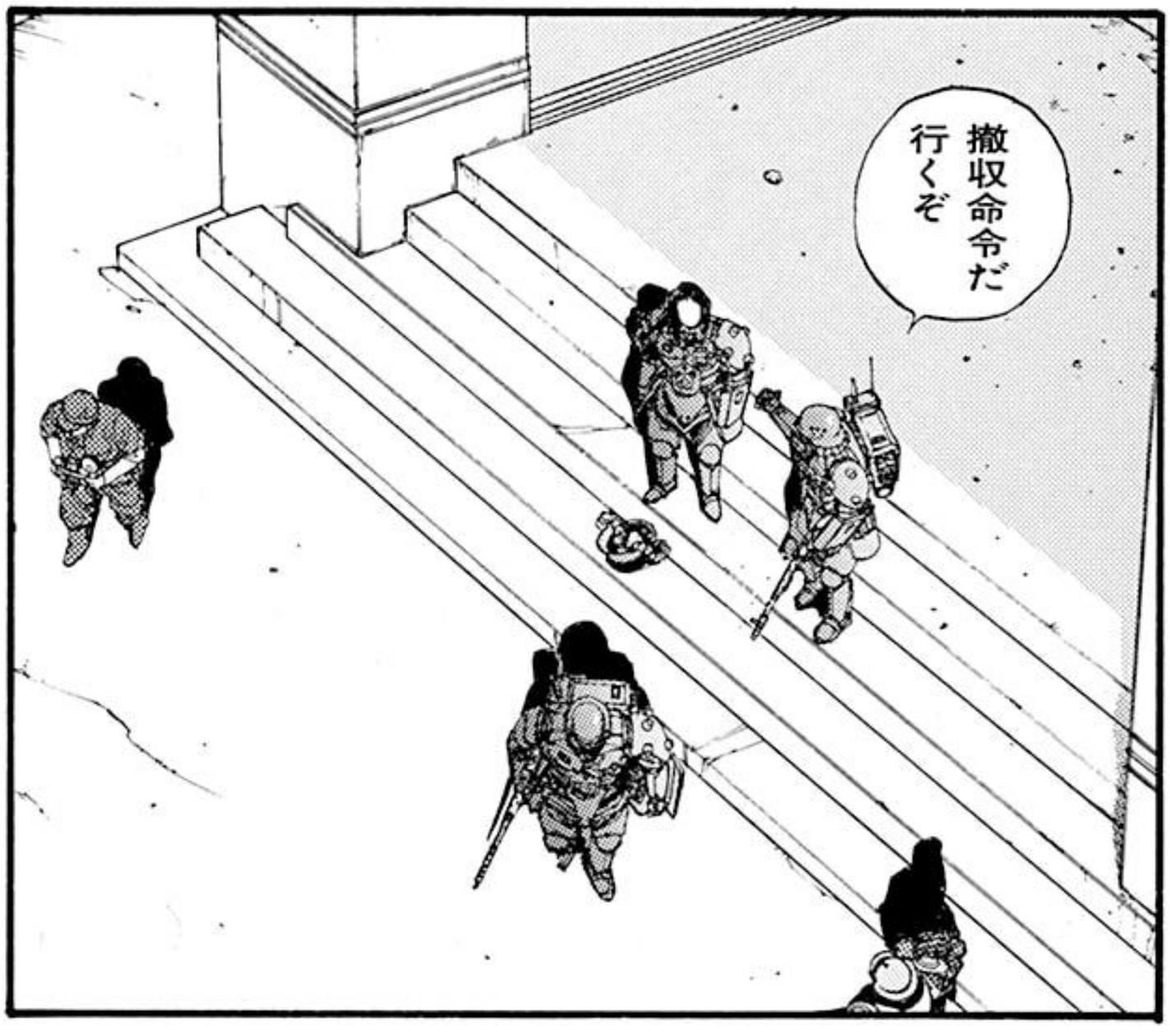
好きなんだよ

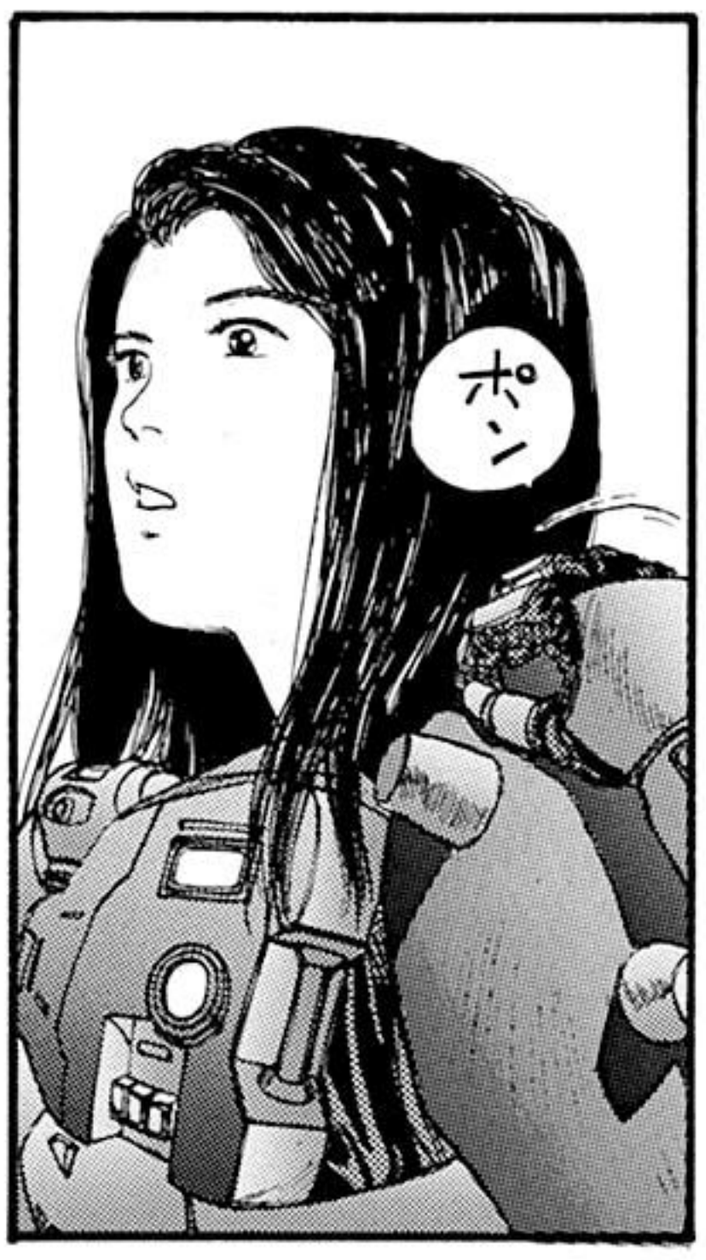
殺しが……




ゴロ…




撤収命令だ
行くぞ


ポン

ああ
疲れたぜ
まったく

アア

背水の陣
ってやつ
だぜ

一歩
まちがえば
アレもん
よ

どうした
悩みごとか

キイッ

ねえ 今日やりあった
連中 妙に若かった
と思わない？

ただ執拗な
だけで抵抗する
にしても連携も
何もなし

あれじゃ
殲滅してくれと
云わんばかり
じゃない

……？

場数を踏んだ兵隊なら
戦闘の引き際ぐらい
心得てるわ

最後のひとりが
倒れるまで戦うなんて
彼等の信条からいっても
ナンセンスのはずよ

まあ奴らも
追込まれてるからな
員数合せに無理な
動員かけたかもな

カポ

そうまでして
実行した作戦に
してはひどくお粗末
じゃない 肝心の大使は
不在 要求や声明もない
し政治的効果としても 無に等し
いわ

奴らにゃ奴らの
都合があるんだろ

だからどんな
都合があるか
それを考え
てるのよ！

ククッ

お前
なに面白そう
にしてる訳

いえあの
…先輩たちでも
喧嘩することが
あるんだなって

気が合うのは
戦闘中だけ
でね

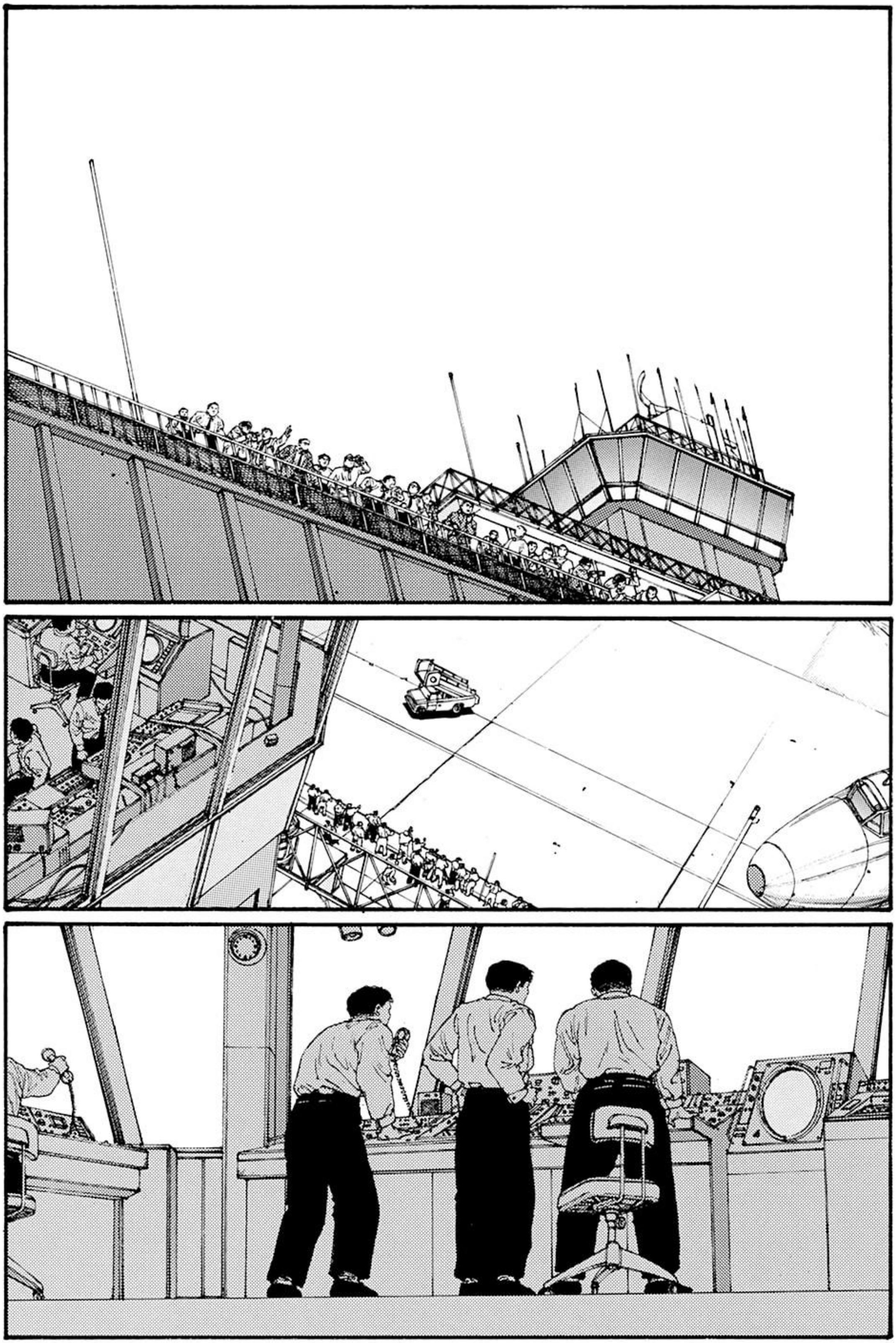
翠　俺たちに
あるのは所詮
これだけさ

いまさら考えて
みても手遅れだ
違うか？

待機中の第一
第二及び
第五小隊に告ぐ！

102装備にて
発令所に集合
せよ

各輸送小隊
直ちに出動準備
にかかれ！



『羽田発アンカレッジ経由ベルリン行、
Lufthansa666便。
〈四季協会〉を名乗る極左集団によって
105名の乗員乗客と共にハイジャックさる』

発行所　株式会社　双葉社
〒162-8540　東京都新宿区東五軒町3-28

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・無断転載は著作権法上での例外を除き禁じられています。

この作品はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありません。